

キャンピング車中泊で使った
お洒落で便利な
ワルマ系ギア
第10種

ハマってる人も
これから人も
必見!

ソロキャンにぴったりのサイズ 5分程度で実現する 約2.3帖の日陰



編集部号にも装着しました!



デリカファンミーティング2022(151ページをチェック)でお披露目した編集部のデリカD:5にもサンシーカーをセット。収納時の見た目も渋い!

キャンピングでの熱中症対策に欠かせない日陰の存在。食事やくつろぐためのリビングスペースには、直射日光が当たらないよう日陰を作るのが基本だ。オーストラリア発のキャリアアブランド、ライノラックがラインアップするサンシーカーは、クルマのルーフからクルクルと引き出して簡単に日陰スペースを作るサイドオウニング。UV50+の高性能防水キャンバス地で、日光はもちろん、紫外線や雨避けとしての実力も高い。オプションでサイド用の生地も組み合わせれば日陰スペースを広げたり、テントのように使うこともできる。機能性の高さはもちろんだが、使い勝手がシンプルな上、収納時にも使用時とにかくデザインがお洒落。アウトドアスタイルをアピールするカスタムとしてもお勧め。



2人作業で5分程度！ 設営も撤収も簡単



RHINO-RACK

ライノラック

☎エクシズライン ☎0761-58-1937 <https://exizzle-line.co.jp>

サンシーカー 2.0mオーニング

購入金額:5万160円

外寸:長さ215×幅210×高さ220センチ



01

キャンプ場で測ってみた 日なたと日陰は 10度違う!?

撮影当日、キャンプ地周辺の天気予報で最高気温が35度。試しに直射日光が当たる日なたと、サンシーカーの下の日陰で温度を比較してみた。するとその差は10度!! いかに日陰が必要かが分かるプチ実験でした。



日なた
40.3度

日陰
30.3度



02



03

01 今回取り付けしたのは幅2.0mのモデル。幅2.5mのモデル(6万3360円)もあり。ライノラックのルーフトレイであるバイオニアブラットフォームに固定しているが、他社製を含め様々なベースキャリアにも装着可能。02 ほぼ2m四方の日陰スペースは、ソロキャンにはびったりのサイズ。03 ルーフの高さにもよるが、デリカD:5であれば高さもあり、圧迫感なし。2本のポールは最大2.2mまで高さ調節可能。